

生活科の学習過程のイメージ

生活科の「見方・考え方」(身近な生活に関する見方・考え方)

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、
比較、分類、関連付け、試行、予測、工夫することなどを通して、自分自身や自分の生活について考えること

思いや願いをもつ

活動や体験をする

表現する・行為する

感じる・考える

- 対象に関心を持つ
- 身体全体で対象と関わる
- 自ら対象に働き掛ける

- 比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える
- 違いに気付いたり、よさを生かしたりして他者と関わり合う
- 試したり、見立てたり、予測したり、見直しを持ったりして創り出す

- 伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する
- 生活に生かしたり、生活を豊かにしたりする

探究心 他者尊重 地域への愛着 適切な関わり 公共 安全 (主に人や社会との関わり)

好奇心 自然との触れ合い 感性 生命尊重 創造 (主に自然との関わり)

意欲 自信 成長 自分らしさ 感謝 (主に自分自身)

人、社会、自然に対する個別的な気付き
(例：学校生活を支えている人々がいること、季節によって生活の様子が変わること など)

人、社会・自然に対する関係的な気付き
(例：空間の中でつながり関わっていること、きまりや一定の変化があること など)

自分自身への気付き
(例：自分自身が成長したこと、役割が増えたこと など)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(例：生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話ができる など)

思考力判断力表現力等

学びに向かう力人間性等

知識技能

生活科の問題発見・解決での過程でクラウド活用 (例)

生活科の学習過程のイメージ

生活科の「見方・考え方」(身近な生活に関する見方・考え方)

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、
比較、分類、関連付け、試行、予測、工夫することなどを通して、自分自身や自分の生活について考えること

思いや願いをもつ

活動や体験をする

表現する・行為する

感じる・考える

【思いや願いをもつ】

- 子供の思いや願いから活動や体験が始まるようにする
- ・行ってみたい場所をICT端末で確認し、思いや願いをふくらませる
- ・前時までにICT端末に残した動画を見返し、本時の活動に見直しをもつ など

【活動や体験をする】

- 活動や体験に没頭したり夢中になったりすることができる時間を十分にとる
- ・活動をしている中で見つけたものをICT端末に写真で残す
- ・自分や友達の活動の様子・成果などを動画で撮影しておく など

【表現する・行為する】

- 活動や体験の楽しさやそこで気付いたことなどを伝え合ったり振り返ったりして多様な方法で表現する
- ・オンラインで他校の友達と活動の様子を紹介したり相談したりする など

【感じる・考える】

- 活動や体験に没頭している子供が、変化を感じたり考えたりする間合をとる
- ・撮影した画像に自分の気付きをメモ機能で手書きし、いつでも見られるようにする
- ・記録を時系列で比較して、成長・変化・違いなどの様子をとらえるなど

小学校2年 たんけん はっけん わたしの町 ～町のすてきを つたえたい～

見方・考え方：地域の人・もの・ことを自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする。

ICTの活用：探検で撮影した静止画や動画を見返す。気付きを共有する。

学習場面：

町探検を繰り返す中で町の公共施設やお店に着目し、施設の役割や利用者の存在、そこで働く人の思い等に気づき、場所や人への親しみを深めていった。人との触れ合いを通して、自分たちの町のすてきな場所・人の存在に気付いた子供たちは、他学級の仲間にも「町のすてきを伝えたい」という願いをもち「どうすれば町のすてきを知ってもらえるのか」を考え始めた。



 静止画や動画撮影時には、情報モラルの育成を意識し活用。

【思いや願いをもつ】町探検で記録した静止画やメモを見返したことで、これまでの活動を想起し、伝えたいことを具体的に考えることができました。



【思いや願いをもつ】自分が撮影した静止画や動画を何度も見返すことで、伝えたいことを明確にしたり、伝えたい場面を選び出したりするにつなかりました。



【気づきを基に伝えたい内容を考える】時系列で静止画を見返すよう教師が促すと、「いつも笑顔で迎えてくれていたパン店の方」の存在に気づきました。比較し共通点を捉えたことで、伝えたい内容が増えていきました。



【表現する】動画を見ながらパン作りの様子を真似ている様子です。手さばきの見事さを再現しようと表現し、「技のすごさを伝えるには、どんな伝え方がいいのか」という新たな課題意識へとつながりました。

この事例のポイント

○町のすてきを記録した静止画や動画を、子供自身が「いつでも」「何度でも」見返すことが、新たな気づきや表したいことを明確にすることにつながっている。

○ICT端末の活用により、視覚的にイメージしやすくなり、表現活動の充実につながっている。